

畳のぬくもりを避難所に 災害時応援協定を締結



災害時の応急対策を円滑に進めるため、市は「5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会（東海地区委員長 国枝幹生さん）」と8月29日、災害時応援協定を締結しました。

今回の締結により、災害時に避難所へ畳を提供いただけることになり、従来より過ごしやすい避難所環境となります。なお、今回の調印により、市と応援協定を締結している団体は74団体となりました。

高める地域の防災力 総合防災訓練を実施



総合防災訓練が9月4日、市内各所で実施され、34団体2,600人の方が参加しました。

午前8時の緊急地震速報を合図に、シェイクアウト訓練を実施。その後、避難誘導や炊き出し、初期消火訓練などを行いました。また、訓練会場となった山王小学校体育館では、今年度導入したドローンによる上空からの被害状況調査を実施。上空からの偵察により発見した被災者をはしご車で救出する訓練も行われました。

エネルギーの地産地消と里山整備の両立 活エネルギーアカデミーが木の駅を増設



NPO法人活エネルギーアカデミーでは、すでに開設済みの赤保木町の木の駅（未利用間伐材の中間集積所）に加え、清見町藤瀬、清見町夏威および漆垣内町にも木の駅を開設しました。

木の駅プロジェクトは、山から軽トラックで搬出した間伐材を木の駅で地域通貨と交換することができ、木質バイオマス燃料として市内で消費することで、エネルギーの地産地消と里山整備の両立を目指す取り組みです。

※NPO法人活エネルギーアカデミーは、高山エネルギー大作戦をきっかけに平成26年に発足し、里山の再生や、自然エネルギーの活用に取り組んでいます。山を舞台にみんなで楽しみながら継続できる活動を目指しており、山の手入れをする人が増え、森を守る人が増えていく活動を進めています。

守りたい人がいる
守りたいまちがある

シリーズ消防団 No.5 高山支団第3分団

上田分団長 / 班数2 / 団員数33人

高山支団第3分団は、宮川より西部地域の川上川まで、市内の中心北部エリアをカバーしています。

管内には、ビッグアリーナ等の運動施設や大規模商業施設があります。また、雁川原通りを中心に商店や飲食店等が数多くあり、賑わいのある地域であります。

このような地域を守るべく、団員は毎月2回の機械器具点検、春季、秋季等の訓練を欠かさず行い、いざという時のために準備を整えています。



高山支団第3分団 上田分団長以下団員のみなさん

消防団員募集中!

詳しくは消防総務課 (☎ 34-3792) または各支所、最寄りの消防署まで

編集・発行 / 高山市企画管理部企画課
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL / 0577-32-3333(代)
FAX / 0577-32-7000 (市長室直通)
FAX / 0577-35-3174 (企画課直通)

HP / <http://www.city.takayama.lg.jp/>
E-mail / kouhou@city.takayama.lg.jp
防災情報などは携帯電話でもご覧いただけます
携帯用HP / <http://mobile.city.takayama.lg.jp/>